

# 東アジアの公論形成Ⅱ

火曜 5限  
16:20-17:50

5号館532

担当教官

三谷 博

**現** 在の東アジアでは、国境を越える交流が日増しに緊密となり、それに伴って国民間の軋轢もまた増加している。目前の障害を越え、和やかで楽しい秩序を創り出すには、この地域に生きる人びとが、進んで互いにコミュニケーションし、他を知り、自らを発見する努力をせねばならない。隣国の韓国・中国のコミュニケーション事情がどんなものか、東アジアで「公共性」を追求する際、どんな問題に気を付けねばならないか、日本のメディアはどんな問題をはらんでいるか。このような問題を、現在、東アジアの知的世界の第一線に立って発言している人びとをお招きし、講義のあと、学生諸君と直接に対話してもらおう。東アジアだけでなく、いま我々が世界の中でどんな立場にいるのか、何をなすべきか、考えたい人に、聴講と対話を勧める。

## スケジュール

- 10月10日―〈ガイダンス・非西洋世界における公論の問題〉―三谷博(総合文科研究科)
- 17日―〈東アジアにおける「公共性」の批判的考察(1)〉―孫歌(中国社会科学院文学研究所)
- 24日―〈東アジアにおける「公共性」の批判的考察(2)〉―孫歌(中国社会科学院文学研究所)
- 31日―〈東アジアにおける「公共性」の批判的考察(3)〉―林志弦(漢陽大学校 人文科学大学院)
- 11月7日―〈東アジアの「国際公共圏」史(1)〉―張寅性(ソウル大学校 社会科学大学院)
- 14日―〈東アジアの「国際公共圏」史(2)〉―潘光哲(中央研究院近代史研究所)
- 21日―〈マスメディアと公共圏〉―林香里(情報学環)
- 28日―〈現代中国のメディア〉―劉擎(華東師範大学歴史系)
- 12月5日―〈現代インドのメディア〉―Rajiv Ranjan(Department of East Asian Studies, University of Delhi)
- 12日―〈日本の新聞と中国報道〉―清水美和(東京新聞)
- 19日―〈日本のTVと国際報道〉―金平茂紀(TBS)
- 1月16日―〈インターネットとメディア・ポリティックス〉―三谷博十玄武岩(総合文科研究科)
- 23日―〈メディア・リテラシー〉―劉雪雁(国際通信経済研究所)